

- カルティベートプログラムとは？

まちなかの遊休不動産を活用し、エリア価値を上げる実践的なビジネスプランを創り出す場としてリノベーションスクールが開催されてから10年以上が経過しました。リノベーションまちづくりの開催都市・地域は累計101都市(*2023.3時点)。この10年で時代は大きく変化し、市民とまちの関係性にも大きな変化が生まれました。これからは事業的な視点からだけでなく、市民一人一人が主体的にまちに関わってそれぞれに居場所がある、ネイバーフッドコミュニティの考えもエリアの価値を上げる重要な要素になってきています。

そういった価値観の変化も踏まえ、まちの資源を丁寧に掘り起こし、耕し、まちに主体的に関わっていく人が増えることでエリア価値向上の可能性が広がっていくという仮説を実践するのが、カルティベート（＝耕す、開拓する、掘り起こす）プログラムです。まちにどのような人がいて、どのような資源があるか丁寧に調査したり、一つ一つの動きは小さくてもまちの主体者やまちで自分を表現する人を増やすために、ワークショップで市民の偏愛を引き出してアクションの創出やコミュニティの組成につなげたり、定量的な分析や都市課題の分析と合わせて参加者自身が次のアクションを起こすための行動指針（エリアビジョン）を作成します。

・ 工程表（参考）

項目	○月	○月	○月	○月
定量分析	■			
現地調査		■		
WSメンバー確定		■		
WS①偏愛トーク			■	
まちのキーワード出し			■	
WS②わたしのまちトーク			■	
講演会				■
WS③妄想会議				■
WS④アクション会議				■
講演会				■

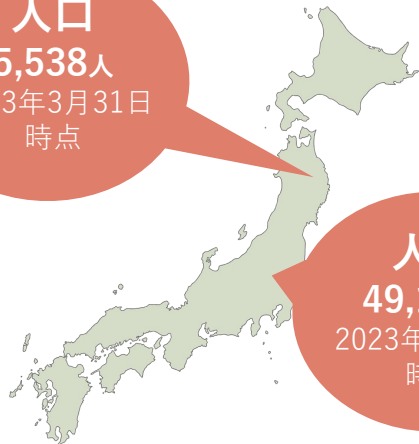
・ ワークショップ（WS）4回実施例

第1回目 偏愛トーク	第2回目 わたしのまちトーク	第3回目 妄想会議	第4回目 アクション会議
キャラクターを引き出す	まちの輪郭を共有する	欲しい暮らしを妄想する	実践プランを立てる
(導入) リノベーションまちづくりとは ・参加者がお互いを知る ・1人ひとりの興味関心を入手 &それを参加者に周知する ~~~~~ (宿題) まちのキーワード50個出し	・まちのキーワード共有 ・まちの魅力を自分の言葉で表現する ・同じ対象物でも見方を変え ると思わぬ価値が見えることを理解する	・実際に行動を起こしたい「この指とまれ」な人を中心に、 個々人のニーズや特技を活かし サポートする体制をつくる	・第3回で出てきたアクションを 実現するための作戦会議 ・自分のありたい姿・ほしい暮らしを言語化し、エリアを楽しみ 尽くすための行動指針を作成する

岩手県 葛巻町

2018年にリノベーションまちづくりをスタートし、2022年度で5年目を迎えた葛巻町。「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて、ワークショップや講演会を通して自分の偏愛やまちの魅力を再発見・再編集しながら、公と民が連携してエリア全体の価値向上につながる取組みを推進してきました。2022度は茶番祭の実行作戦を立てたほか、次のフェーズに向けて自分達がまちなかに作り出したいシーンを描きました。

人口
5,538人
2023年3月31日
時点



人口
49,159人
2023年3月末日
時点

群馬県 みどり市

2022年度にリノベーションまちづくりが始動したみどり市。初年度は定量・定性的なまちの分析と全5回のワークショップを実施しました。ワークショップでは、みどり市内で活動している/これから活動したいメンバーが集まり、自分の偏愛やまちへの想いを繋ぎ合わせながら、実際に自分がしたいこと・できることを軸として、みどり市で創りたい暮らしと、それを実現するためのアクションプランを策定しました。

茶番祭！大人が全力でテントサウナを 楽しんだ結果、行政課題も一緒に解決！？



「まずは自分たちがまちなかを楽しむ」をテーマに、既存のマーケットであるクラフト市と同日開催で茶番祭を開催しました。茶番祭では、大自然×テントサウナで癒されたり、みんなでキャンプ飯をつくったり、そして林業の町ならではの木工ワークショップ開催や焚き火を囲むなど、**そこにある資源を活かし**ながら、**自分たちのやりたかったこと**を全力で楽しみました。エリアビジョンのテーマでもあった「自然を味わうまちなか暮らし」の理想のあり方をみんなで体感しながら、結果として、まちの魅力がまちの人たちに伝わり、**遊休化していた公園の活用**や**まちなかの回遊性も向上**するなど行政としての狙いを実現する糸口にも繋がりました。

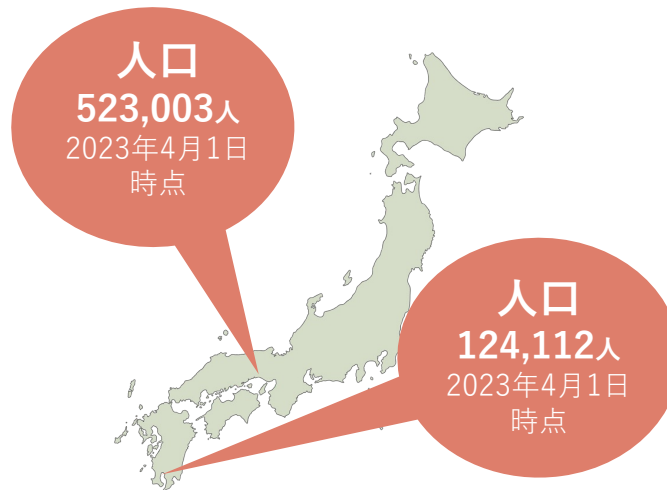
1年目にして脅威の人財発掘率！ みどりで沸き起こる数々のムーブメント！



全5回のワークショップを終えた今、自分達のほしい暮らしをつくるためにチームとしてまた個人としても活動の輪をまちなかに広げています。そのひとつとして豊島区発の取組み「**Cleanup & Coffee Club**」がみどり市でも本格始動。休日にちょっと早起きしてまちに出る。ゴミ拾いとコーヒープレイクを通じて、新たな出会いやアイデアが生まれています。その他にも、既存の昼市の開催に合わせて**定期的に拠点をまちに開き始めたり**、「**みどり会議**」が**組成**されたり多数のアクションが生まれました。また2023年度も既にまちなかで新たな仲間が加わりはじめ、みどり市内の各エリアでバラバラに動いていたメンバーが、業種を超えて緩やかに繋がりをみせています。

兵庫県 姫路市

過去2回のリノベーションスクール開催で生まれたプロジェクトなど民間事業者の動きを後押しし、エリア価値向上を目指して2022年度は駅西エリアビジョン・アクションプランを策定。エリアで活動する方々へ事前ヒアリング（戦略会議）を3回行い、エリアビジョンの仮説を立て、公募でメンバーを募集しました。ワークショップ（アクション会議）2回と講演会を3回実施し、エリアビジョンへの意見出しやアクション案実現に向け戦略立てを行いました。



鹿児島県 霧島市

国分中央と隼人の2エリアでカルティベートプログラムを実施。国分中央は霧島の経済の中心地で、2回のリノベーションスクールを開催したエリア。スクールが2022年度で終了するにあたり、今後自分達で動いていくための指針としてのエリアビジョンを策定しました。一方、隼人は住宅地で、2022年度からリノベーションまちづくりがスタートしたエリア。まちで何かやってみたい！という仲間が集い、アクションプランを策定しました。

地域の日常の延長でつくる 「旧市のきさき朝市」を定期開催し エリアの魅力を発信！



駅西エリアの目利き機能を有する市場と「この人から買う」文化を守るため、互いの人となりを知れるような仕掛けをエリア内に創出することを目指し、エリアビジョンを『人と人が出会い“かえる”まち』としました。ビジョンの実現とエリア価値向上の第一歩として「旧市のきさき朝市」をスタート。既存店舗に協力を仰ぎ関係性を築きながら、ワークショップメンバーを中心に軒先を使った出店者を一部募ることで、無理なく継続し、**民間メンバーでの自立した運営と定期開催**を目指しています。2023年2月には市民に向けた一連の取り組みへの理解と、有識者をまじえたトークセッションを通してこれからの姫路の未来を一緒に考え共有する場として**シンポジウム**を開催しました。

中心市街地 × 住宅地の同時開催で 互いのエリア特性を生かし合う！

国分

隼人

～エリアビジョン～

顔見知り同士もいるなかで改めて語り合った「国分のほしい未来」。霧島愛を熱く語ったり、**教育や福祉**の話題で盛り上がったり、**公共空間**を楽しむアイデアが飛び交ったりしました。共通するのは**偏愛をまちで表現しながら人とつながりたい**ということ。想いの込められたプロジェクトが多数生まれました！

～アクションプラン～

3回のワークショップでは、グループワーク中に**マップづくり**が始まったり、複数のメンバーの気になる空き家が同じだと判明したりして盛り上がりました。終了後、アクションプランの1つの**イベント**「オープンシェアハウス&アートギャラリー」が開催されたり、**空き家調査**が始まったりと、まちが動き出しています！